

S1

**アメリカ手話と英語の二言語話者における
単語の認識の通言語的研究：
ろう児、成人ろう者および成人聴者の比較**

エリン・ウィルキンソン
(ニューメキシコ大学 [アメリカ])

要旨

これまで、二言語使用に関する研究のほとんどは、個々の言語を別々に扱って言語獲得や言語使用を調査するものであった。しかしながら、最近の研究では、成人二言語使用者が表面的には一方の言語のみを使用している際に、もう一方の言語も同時に活性化しているらしいということが示されつつある。これは文字を読んでいるときにも (Dijkstra 2005)、音声を聞いているときにも (Marian & Spivey 2003)、さらに話しているときにも (Kroll, Bobb & Wodniecka 2006) 起こる。ここに挙げた研究が示すのは、聴者二言語話者において、非選択的な語彙アクセスが原則であって例外ではないということである。

しかし、日常的に手話を用いつつ、文字で書かれた音声言語を読む能力も高いような二言語使用ろう者については、そこにどのような言語間相互影響が生じるのか、ほとんど分かっていない。音韻論的にも正書法の上でも類似点のない単語と手話単語との間で、二言語使用ろう者が非選択的な語彙アクセスを行うことはあり得るのだろうか。非選択的な語彙アクセスは、子どもにも大人にも見られるものであろうか。手話言語を知っていることは、音声言語・文字言語の獲得をどの程度助けるのであろうか。これらの疑問に答えるために、手話を用いる子どもと大人における語彙アクセスを評価する研究が行われている (Morford, Wilkinson, Villwock, Piñar & Kroll 2011; Morford, Kroll, Piñar & Wilkinson 2014; Ormel, Hermans, Knoors & Verhoeven 2012)。本発表で紹介するのは、アメリカ手話と英語の二言語使用者を被験者とした研究で、文字に書かれた単語をろう児・成人ろう者・成人聴者が見た場合、その訳にあたる手話単語が活性化するか否かを調査したものである。被験者は、文字に書かれた二つの英単語を見せられ、それが意味的に関連するかしらないかを答えた。単語のペアの中には、アメリカ手話に訳すと語形が似ているようなもの (たとえば「鳥・アヒル」、「映画・紙」) と、そうでないもの (たとえば「脳・心臓」、「エンジン・ボタン」) があるが、その事実は被験者には伏せられていた。「語形が似ている」ものは、3つの音韻論的因子 (手形、手の位置、手の動き) のうち少なくとも2つが一致するものを選んだ。当初の予想のとおり、ろう者においては音韻論的類似性が応答パフォーマンスを有意に向上させたのに対し、コントロール群である聴者では向上は見られなかった。このこ

とから、二言語使用のろう者は、アメリカ手話の入力がない場合でも、文字に書かれた単語から、それに対応する手話単語を自動的に活性化しているのだと言える。その後、発表者は二言語使用者の語彙処理がどのように発達するのかの調査を試みた。この実験では、大人に対して用いられたことのある暗示的プライミングの実験手法（Morford ほか 2011）を応用し、ろう者であるアメリカ手話・英語二言語使用の子どもたち（N=39, 年齢11-15）と、聴者である英語単一使用の子どもたち（N=26, 年齢 11-14）に、英語での意味的関連性タスクに参加してもらった。手話使用者の二言語発達について Hermans ほか（2008）が提案するモデルによると、ろう児は第一言語による語彙的媒介を通して第二言語の語形にアクセスするのだという。そうであれば、先の大人に対する実験と同様に、文字で書かれた単語と手話単語の同時活性化が子どもにおいても起こるものと期待できる可能性がある。一方、文字で書かれた単語と手話単語との並行的活性化は、単に二つの言語を長年活性化し使ってきたことの結果であるかもしれない。そうであれば、ろう児は大人ほどの同時活性化を見せないものと期待できる可能性がある。当初の予想のとおり、ろう児においては手話単語の音韻論の影響が有意に見られたのに対し、コントロール群である聴者には見られなかった。発表者の結論は、ろう者であり手話言語を用いる二言語話者において見られる第一言語と第二言語との同時活性化が、子どもの時点ですでに観察されること、そして二言語話者の言語処理が、二つの言語の間の類似性の度合いに関わらず非選択的であることである。

意味的関連性と手話単語の音韻論が見せる相互作用についての発見を、ろう児・成人ろう者・成人聴者の三者の間で比較する。言語間の活性化においてアメリカ手話の運用能力と言語的支配度が果たす役割を論じ、手話を用いる二言語使用のありかたについてそこから広く言えることにも言及する。